

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

Vol.19 2017.7



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
http://konagayajunji.web.fc2.com/
Email photo-ko@vcs.wbs.ne.jp

ブログ・facebook
小長谷順二 検索

5月16日の臨時会で文教ガーデン事業は否決され、新中学校・新こども園・防災施設・公園整備は白紙となりました。総合計画の見直しと新たな学校再編計画、そして中伊豆温泉病院の市外流出の問題等々、市政は混乱しています。これらの事業を含む今後の具体的な方向性について、はっきりと示されていない状況で「平成29年第2回伊豆市議会定例会」が6月8日に開会しました。

6月13日～16日の一般質問では、14名の議員が登壇し市政について問いました。文教ガーデン事業廃案の責任を追及する議員の質問もあり、市長との対立姿勢は顕在というところです。

6月7日に「教育環境の充実に努力する市民の会」から“中学校教育改善に関する請願書”が提出され、本会議で採択されました。今後、市民・議会・行政が一丸となって伊豆市の課題解決に向けた取り組みを早急に開始する事を強く望みます。

平成29年第2回伊豆市一般会計補正予算(第2回)

6,419万5千円を減額し、総額166億2,327万9,000円

- ・ 南伊豆・西伊豆公共地域交通会議 (160万円)
- ・ 総合計画・総合戦略推進事業 (646万円)
- ・ 社会福祉協議会補助金 (158万円)
- ・ 湯の国会館温泉ポンプ改修費 (156万円)
- ・ 消防団退職報償金 (428万円)
- ・ 湯ヶ島地区防火水槽設計費 (340万円)
- ・ 同報アナログ無線機器更新費 (2,254万円)
- ・ 建物移転補償金 (4,220万円)
- ・ 文教ガーデン土地取得費 (△1,300万円)
- ・ 文教ガーデン中学校整備費 (△1億1,880万円)

(一般会計補正予算は賛成多数で可決)

◎最終日、文教ガーデン補償費などを削除する修正案が西島・鈴木議員から提出されたが、賛成少数で否決しました。

6月8日 全員協議会(下水道使用料について)

伊豆市の下水道使用料は、平成20年度下水道審議会答申を受け、これまで旧町ごと異なっていた流域公共下水道、単独公共下水道事業、農業集落排水事業の使用料体系と使用料の統一を図り、平成22年4月1日から適用され、以来、使用料の改定はありません。しかし、県に納めている流域下水道使用料が平成30年4月に改正される予定であることから、流域公共下水道、単独公共下水道事業、農業集落排水事業の維持管理経費等の使用料対象経費を算定し、使用料の見直しを行うもので、見直しによる新たな使用料は審議会の答申後に、市議会に上程予定。

【現在の下水道使用料】(税込)		
汚水種別	基本料金	水量料金(1㎡)
一般汚水	270円/月	91.8円
温泉営業汚水	270円/月	64.8円

おもな行政報告

1) 総合計画の見直し

ネットワーク型コンパクトタウンの基軸となる文教ガーデン事業の否決に伴う事業の中止

2) 今後の学校施設整備

学校審議会での新たな学校再編計画を策定する方針

3) 都市計画の見直しの成果

本年3月31日に都市計画の見直しが実現し、線引きが廃止され、狩野川記念公園向いの廃墟の一部が解体・撤去される

4) 月ヶ瀬地区道の駅整備

平成30年度末の開通に向けて今年度は実施設計に入る



月ヶ瀬道の駅建設予定地

「議会報告会」～みんなで語る会～開催

平成29年5月22日(火)～5月26日(金)まで市内4箇所で開催しました。平成29年度一般会計予算概要説明、一般会計委員会審査報告、ワークショップを開催。

各会場での質問の回答と、ワークショップで述べられた質問や意見、要望については「報告書」を作成し記載します。ワークショップの質問や要望で、回答できるものは議会として執行部に確認を行い、ホームページで公表いたします。

※4日間で101名の参加者がありました。(昨年56名)



土肥会場

小長谷順二の一般質問 (第2回定例会 平成29年6月13日)

災害時に於ける情報伝達整備について [答弁：市長・総務部長・防災監]

Q 災害時に於ける情報収集について、今後の同報無線の整備や、災害時緊急放送に関する協定を結んでいる FMIS の難聴地域の解消、SNS 等を活用した情報伝達・収集について

A 6月4日の情報伝達・確認訓練に於いても、同報無線の詳細な内容について、聞き取りにくいとの意見を頂いているが、注意喚起としての役割は果たしている。現在のアナログ無線は部品の供給が危惧されているが、多額な費用を掛けてデジタル化に踏み切るには多くの課題があり、これまでの方針としては、FMIS を活用する方向で進んでいる。難聴地域の整備については、内容の優先順位と時期的な優先順位を精査し、早急に検討して行きたい。SNS のツイッターは、国土交通省や他市町の首長から大きな効果があると伺っているが、不正確な情報が、速やかに広くひろがる事が懸念されるので、情報発信の管理が重要であると考えている。

意見 いつ起こるか分からない災害時に於ける、情報伝達については、同報無線、防災ラジオ、災害情報伝達メディアの FMIS、メールやスマホなどの複数の手段を活用し、情報伝達・収集を行い、住民や観光客の安全・安心に繋げて頂きたいと願っています。



土肥小学校の跡地活用について [答弁：市長・総合戦略部長]

Q 具体的な跡地活用について、地域住民の意見を伺い、理解を得ながら話を進めて行く事が重要と考えますので、意見収集についての見解を伺います。

A 土肥小学校は昭和30年の建設ですが、耐震補強も行い、相当しっかりとした建物です。4階の音楽室から裏山への避難ブリッジも整備してあるので、津波のリスクは否定できないが、跡地の活用については、地域と観光の両方が使えるような「土肥地区の振興」の為に活用できる施設が望ましいと考えています。

より多くの地域の皆様の意見を伺う方法として、地域づくり協議会や、産業振興協議会等に相談をさせて頂き、今年度も地域振興拠点づくり事業を行っていくので、そこで地域の意見をどのように反映できるのかを検討して行きたいと考えている。

意見 地方自治研究機構によれば、過疎化による廃校では、体験交流施設、宿泊施設としての活用事例が多くみられ、地域コミュニティ活動の拠点としての活用と、都市との交流に活用されている事例が多くみられるそうです。建物は、人が入らなくなるとたちまち朽ちてしまい、グラウンドも手を加えないと草が生い茂り、荒れてしまいます。地域住民の意見と全国の成功事例を参考に、早急に土肥小学校の跡地についての話し合いを始めて頂きたいと願います。



第18回

小長谷順二 市政報告会開催
平成29年7月20日(木)PM7時～
伊豆市土肥支所 4F集会室

文教ガーデンシティ事業の断念によって、総合計画にも示されている“コンパクト&ネットワーク構想”の周辺地域の活性化に向けた取り組みの方向性が危惧されますが、現土肥中学校に建設中の「土肥義務教育学校」の開校まで8ヶ月あまりとなりました。今後の土肥小学校の跡地活用について、多くの皆様との意見交換をおこないたいと思いますので、是非お出かけください。